# とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

| 園名 | 草花保育園 |
|---|---|
| 活動日時 | 令和8年1月9日(金)～1月30日(金) |
| クラス名(年齢) | もも　　組(　4　歳児) |
| 年間テーマ | 自然 |

1、活動テーマ

＜テーマ＞

見て触れて感じて考える

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・日に日に寒さが増し、園庭のいちょうの木の葉がほとんど落ちたことなどから冬が来たことを感じていた

2、活動スケジュール

・霜柱を見つけ知らせる
・寒さが増してきたことを感じ、氷ができるのではないかと考える
・氷作りをする

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・霜柱を皆で観察できるよう、園庭に出た時に見つける
・外気温を数字でみられるように気温計を用意する
・氷作りのカップを用意する

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・霜柱を観察する
・気温計で気温を計ってみる
・氷作りをする
・雪が降ることを心待ちにする

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

| 子どもの言葉・姿 | 写真 |
|---|---|
| ・「霜柱見つけたよ」と登園途中で見つけた霜柱を持ってきていた。他児も「なにこれ？」と興味を持ち観察していた。<br>・「アレクサがね、今日はマイナス１度って言ってた。マイナスってね、ゼロよりもっと寒いんだよ」保育者「じゃあ、気温計で今日の気温を見てみよう」と話した。<br>・自分でカップに入れ園庭裏の凍りそうな場所に置き、翌日確認しに行く。「氷できた。今日寒かったもんね」「みてみて！水の中に氷ができていたの」「水の量が多かったから氷ができなかったのかな」「次は水少しにする」「（氷ができてた）〇〇ちゃんの置いてたところに置いてみたよ」などと話していた。<br>・「雪が降ってほしいな」「鈴鳴らしてお願いしてみよう」「雪降ってー」と空に向かって鈴を鳴らしながら祈っていた。 | <br> <br> <br> |

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・寒い季節ならではの気づきや発見があるので、子どもがそれらを体感できるように保育を心掛けた。霜柱はこの季節でないと見たり触ったりできないので、子どもの気づきを受けとめ、保育の中に取り入れた。氷作りも毎日行っていく中で、子どもが考え、工夫するようになり、気温や天気を意識するようになっていったことを感じた。保育者のちょっとした心掛けで、子ども達の興味や意識が向くことを感じた。